

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
不動産関係法 Real Estate Law		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	講義		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
法学・民法 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
法律系科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
高須則行	非常勤講師 室	出講日	授業中に指示します	
授業の概要				
私たちの重要で、高価な財産として土地や建物(不動産)があります。そのような土地や建物(不動産)に対して法はどのように規定しているのでしょうか。たとえば、不動産を売ったり買ったりした場合の権利関係や自分の持っている不動産を元手に銀行からお金を借りる場合にどのような権利関係が発生するかなどを概観します。				
授業の到達目標				
①登記制度を理解することができるようにする。 ②不動産に関する権利の種類を理解することができるようにする。 ③担保制度等を理解することができるようにする。				
授業の方法				
講義形式で行いますが、その都度、受講生の皆さんに質問し、自らの考えを述べてもらいたいと思っています。そのような双方向の授業を心掛けていきたいと思っています。				
学習の成果				
①登記制度を理解し、説明することができる。 ②不動産に関する権利の種類を理解し、説明することができる。 ③担保制度等を理解し、説明することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	不動産関係法へのいざない			
第2回目	不動産に関する調査			
第3回目	土地の価格			
第4回目	不動産の売買契約(I)：売買対象面積			
第5回目	不動産の売買契約(II)：危険負担と瑕疵担保責任			
第6回目	不動産の賃貸借契約と法律(I)：借地関係			

第7回目	不動産の賃貸借契約と法律(II)：借家関係		
第8回目	建築基準法(I)：用途制限等		
第9回目	建築基準法(II)：建ぺい率と容積率		
第10回目	都市計画法		
第11回目	区分所有法		
第12回目	不動産と税金(I)：不動産の取得に係る税金		
第13回目	不動産と税金(II)：不動産保有にかかる税金		
第14回目	不動産と税金(III)：不動産の賃貸に係る税金		
第15回目	まとめと試験		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度			
レポート			
調査報告書			
小テスト	60%		基本的・個別的知識の理解度
中間・学期末試験	40%		体系的・全体的知識の理解度
発表内容(態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
『12～13年版 パーフェクトFP技能士入門3級用』 きんざい			
履修上の心得・ルール			
教科書を持って来て、授業に参加することは当然ですが、念のためにテキストは必ず持ってくること、板書の内容は整理してノートに取ること。			